

令和7年度ブナ豊凶結果について

1 ブナの調査目的

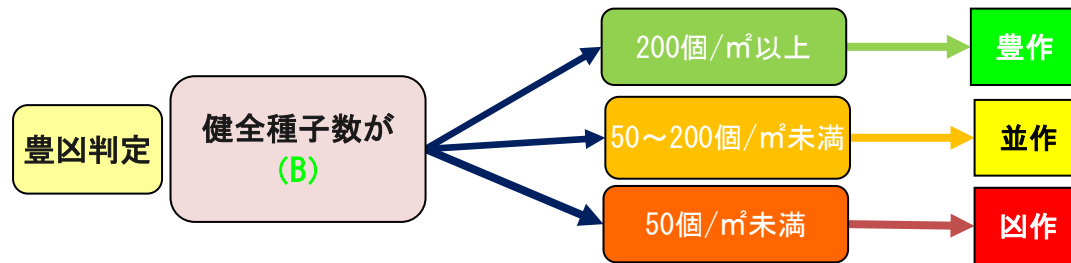
森林の更新や野生動物の生息に影響を与えていると考えられているブナの実の豊凶を調査することにより、森林生態系への影響や異変を察知するため、ブナの豊凶調査(豊凶予測及び豊凶結果)を行っています。

2 調査方法及び調査時期

県内15カ所のブナ林の調査地にトラップ(面積約1㎡の円形ネット)を設置し、それに落下した雄花の数(4月末～6月)から豊凶を予測します。さらにそのトラップを継続して使用し、11月まで落下した健全種子の数から豊凶を判定します。

3 ブナの豊凶基準及び結果

豊凶基準は、これまで行われた調査・研究を基に作成しています。
トラップ(5個:a、10個:b)に落下した種子を判別して、健全種子数が200個/㎡以上を豊作、50～200個/㎡未満を並作、50個/㎡未満を凶作としています。



【豊凶結果】

調査地番号	調査箇所	落下種子数(個/㎡)				豊凶判定結果		予測
		健全種子数(B)	未成熟・シイナ種子数	虫害種子数	合計(確認種子数)	(B) ≥ 200	豊作	
						50 ≤ (B) < 200	並作	
1	湯の台(a)	0.0	0.0	0.0	0.0	(B) < 50	凶作	凶作
2	羽黒山(a)	0.0	0.0	0.0	0.0		凶作	凶作
3	関川(a)	1.0	5.2	0.6	6.8		凶作	凶作
4	沼の台(a)	0.0	0.0	0.0	0.0		凶作	凶作
5	西小俣(b)	0.0	0.0	0.2	0.2		凶作	凶作
6	与蔵峠(b)	-	-	-	-	判定できず※2		※2
7	鍋越峠(b)	0.0	0.0	17.4	17.4		凶作	凶作
8	弓張平(b)	0.0	0.0	0.6	0.6		凶作	凶作
9	月山自然博物館(a)	0.0	0.0	0.0	0.0		凶作	凶作
10	金沢(a)	0.0	0.0	0.0	0.0		凶作	※1
11	黒伏(b)	0.0	0.0	1.0	1.0		凶作	凶作
12	蔵王(鳥兜)(a)	0.0	0.0	0.2	0.2		凶作	凶作
13	駒立(a)	0.0	0.0	0.0	0.0		凶作	凶作
14	徳網(a)	0.0	0.0	0.0	0.0		凶作	凶作
15	葉山(村山)(b)	0.0	0.0	0.2	0.2		凶作	※1

※1: 豊凶結果のみ、※2: 土砂崩れで種子、雄花等を回収できず

ブナ豊凶結果 位置図

令和7年12月8日
山形県環境科学研究センター

